

いつもお世話になっております。

今月分の請求書を送付いたしますので、ご査収の程よろしくお願い申し上げます。

いつもありがとうございます。

太陽はまるで夏の様な日差しで、変に暑かったり、寒かったりしている5月です。みなさまはいかがお過ごしでいらっしゃいますか。

『さわやかな春を感じたい!!!』近場の自然をもとめて、奈良の葛城山へ向かいました。

近鉄御所（ごせ）駅から、ロープウェイ乗り場まではバスで移動です。電車もバスもゴールデンウィークの割には混んでなくてよかった。葛城山って人気ないのかなあ・・・と、のんきに思っていたのですが、ロープウェイ乗り場周辺の駐車場はほぼ満車状態。そして、ロープウェイには満員電車並みにぎっしり人が詰まっていました。きっと山頂にもかなりの人数が押し寄せていることでしょう。

・・・せっかくここまで来たんだから、行ってみよう!・・・と普通は思うのですが、あっさり諦めて、バスで再び駅にもどりました。

駅前のひっそりした小さな商店街を抜けると、古い町並みが残っていて、大きな古い商家のような立派な建物が並んでいました。

現在の御所市は、奈良県内で一番人口の少ない市だということですが、江戸時代には商都として栄えていたそうです。古くは、大和王権と肩を並べるほど栄華を極めたとされる古代豪族「葛城氏」や、謎に包まれた「鴨族」の本拠地として、古代から長く栄えてきたそうです。

あてもなくブラブラしていると、柳田川という小さな川にたどりつきました。川沿いは桜並木で遊歩道が整備され、緑の葉っぱがきらきらと輝いていました。ひと月前なら花が満開で見事な光景だったことでしょう。

せっかくなので、近所の神社に行ってみようと「鴨都波神社」にお詣りしました。豪族鴨氏（賀茂氏）の氏神社で、「下鴨社」ともいられています。建物自体は大きくはありませんが、立派な鎮守の杜があって気持ちのいい神社でした。

その他にもこの地域には、一言だけの願いをかなえてくれる「葛城一言主神社」、橿原神宮よりも古くから初代天皇をお祀りしている「神武天皇社」、全国の“賀茂”（鴨、加茂）のつく神社の総本宮で、京都の上賀茂・下鴨神社のルーツでもある「高鴨神社」など、奈良の観光スポットとしてはポピュラーではないのですが、見所はたくさんあるようです。

なによりも「鴨族」が気になります。陰陽師の安倍晴明の師匠「賀茂忠行」も、修験道の開祖である「役行者」も鴨族だそうですよ。

あっという間に梅雨シーズンです。気温の変化で風邪をひいている人も多いようです。みなさまも、体調にはくれぐれもお気を付けくださいませ。



葛城山（中央）また今度行ってみます



古い町並みがすてきです



柳田川に一目惚れ



鴨都波神社